

地域愛着が地域への協力行動に及ぼす影響に関する研究\* Study on Effects of Place  
Attachment on Cooperative Behavior Local Area \*

鈴木春菜, & 藤井聡. (2008). *土木計画学研究・論文集*, 25, 357-362.

地域活動への動機として、あるいはソーシャルキャピタルの一つとして、“地域愛着”が注目されている。本研究では、地域愛着と地域への協力行動をはじめとする土木計画にかかわる諸変数との間の統計的関係を“地域”の概念や“愛着”の構成について、土木計画の分野で重ねられてきたこれまでの研究と同様の枠組みのものをを用い検討する。

本研究では、地域愛着が地域での協力行動に与える影響について分析を行った。その結果、地域愛着が高い人ほど町内会活動やまちづくり活動などの地域への活動に熱心である傾向が示された。地域愛着が高いほど地域内の活動について他者に依存する傾向が低く、行政を信頼する傾向も示された。地域内の他者に依存する傾向が低い点は、地域愛着が高い人がそうした傾向を示していることを踏まえる地域の存在を軽視し地域への関与を厭うというより、主体的な地域への責任感が存在する可能性を示唆するものといえる。このような責任感は、地域内での協力活動への参加を促す動機となるのである。本研究では交通行動が地域愛着醸成に及ぼす影響をふまえた共分散構造分析を追加的に分析することより、交通行動が地域での協力行動に影響を及ぼす可能性を改めて示唆。各種の交通施策検討の際には、本研究で示したような地域愛着への因果関係が存在することを想定する必要があることを示唆しているといえる。